

理研ミニワークショップ

「原子核クラスター構造、反応研究における戦略ミーティング」

日時：11月9日、10日

場所：理研本館5階会議室 535, 537

11月9日(金)

13:25—13:30 趣旨説明(船木)

【座長: 船木靖郎】

13:30—14:00 木村真明(北大)

“ドリップライン近傍核での変形共存とハロー核”

14:00—14:30 谷口億宇(筑波大)

“変形状態におけるクラスタ相関”

14:30—15:00 山口英斉(東大 CNS)

“Studying alpha-cluster structure using low-energy RI beams at CRIB”

15:00—15:30 板垣直之(京大基研)

“幾何学的・ガスのクラスター構造、およびシェル状態との競合”

【座長: 明孝之】

16:00—16:30 小林史治(京大)

“軽い原子核におけるダイニュートロン相関の系統的研究”

16:30—17:00 船木靖郎(理研)

“OCM+CSM, THSR 波動関数による今後の研究展開”

17:00—17:30 山田泰一(関東学院大)

“モノポール励起とクラスター構造”

11月10日(土)

【座長: 木村真明】

9:00—9:30 堀内渉(北大)

“少数体計算の現状と今後の展望”

9:30—10:00 明孝之(大阪工大)

“テンソル最適化殻模型による核構造の解析”

10:00—10:30 須原唯広(筑波大)

“現実的核力を用いたクラスター構造計算に向けて”

10:30—11:00 青山茂義(新潟大)

“ ^{11}Li の 11 体計算”

【座長: 板垣直之】

11:30—11:50 上村正康(理研)

“(コメント) 今後の武器になるか? --- 複素レンジガウス基底関数による
3 体 Complex Scaling 図の「解像度」向上”

11:50—12:20 松本琢磨 (九大)

“CDCC と CSM による中性子剥離反応解析について”

12:20—12:50 大津秀暁 (理研)

“Exploration of cluster states on neutron rich isotopes
by means of broadband magnetic spectrometer SAMURAI”

12:50—14:15 昼食

【座長:山田泰一】

14:15— 全体討議